

よく考え、進んで行動できる、心身共にたくましい児童の育成
＝ 強く 明るく 考える ＝



高田小学校だより

稲敷市立高田小学校
令和8年2月6日発行 No10
TEL 029-892-2242
FAX 029-892-3794
https://www.inashiki-c.ed.jp/
page/dir000052.html

春への準備 学年のまとめに向けて

今年の冬は雨が少なく、寒く乾いた日が続きます。「立春」を迎えても、まだまだ春は遠いようです。しかし、校庭の木々が地面にしっかり根をはり春への準備をしているように、学校も一日一日を大切に、子どもたちが学習や諸活動にしっかり取り組んで、学年のまとめと進級（進学）への備えを進めていきます。

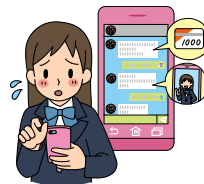


まとめに向けたキーワードは「感謝」と「自己実現」です。「感謝」については、例年「6年生を送る会」を大きな仕掛けとしていましたが、今年度は「感謝の会」とし、子どもたちがもっている「感謝する心」をさらに引き出しそうと思いました。「ありがとうと伝えたい人は？」「どのように伝える？」と考えさせ、範囲を広げた会をつくります。

ゴールまで残り2ヶ月。引き続き保護者の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

安全で安心できる生活のために

先日、SNS上への暴力行為等のエスカレートした動画投稿が、新聞やテレビで取り上げられていました。便利なSNSですが、匿名性による相手意識（思いやり）のない書き込みなど、言葉の暴力が取り返しのつかない人権侵害になると危惧しています。未熟な子どもたちには、私たち大人の関わりが不可欠であることは言うまでもありません。



学校では「みんながすごしやすい学級（学校）」を目指して、自分たちが考えた「いじめしま宣言」を掲げるなど、子どもたちの力でよりよい生活ができるように努めています。併せて、情報モラルの学習とともに、日頃から「心の健康観察」「児童アンケート」等によって、子どもの不安を早期に解決できるようにしています。

ご家庭においても、「我が子の暴力行為やいじめを決して許さない」はもちろんのこと、子どもたちのこれからを見据えて「相手が見えないオンラインによる関わりを慎重にすること」についても、折りにふれて話題にさせていただきたく思います。

避難訓練（事前予告なし）

1月13日（火）に避難訓練を行いました。今回は業間休みに、事前の予告なしで、実際の場面を想定しての訓練となりました。

地震発生の放送が入ると、グラウンドや教室など、それぞれの場所に応じて子どもたちは身を守る行動をとりました。静かにすみかやに行動できていたのではないかと思います。また、集合した際には、きちんと列を作り、点呼が終わるまで座って待つことができました。

児童は、今回の活動を振り返り、実際の地震を想定して活動できたか、慌てずに行動できたか、教わったことを生かすことができたかを改めて考え、防災意識を高められたのではないのでしょうか。

本年度の避難訓練はこれで終了ですが、来月で東日本大震災から15年の節目を迎えます。災害は場所や時間を選びません。学校での避難訓練も大切ですが、ご家庭でも防災についてお話いただくと、学校と家庭の両方で子どもたちの安心・安全な生活につながると思いますので、ご協力をお願いいたします。



3年生校外学習 オオヒシクイ見学（稲波干拓）

1月20日（火）に3年生はオオヒシクイの観察に稲波干拓まで校外学習に出かけました。オオヒシクイは国の天然記念物に指定されています。この鳥は遠くカムチャッカ半島から3000キロ離れた稲波干拓まで飛来し、冬を過ごします。

子どもたちは、そんなオオヒシクイが一目見られるかと期待に胸を膨らませていましたが、なんと今季はまだ1羽も飛来していないということで、この日に見ることができませんでした。しかし、講師の先生から話を聞いたり、望遠鏡でその他の鳥を見つけたりと、子どもたちは学校では味わえない体験をすることができたと思います。講師の先生から「飛来する数が減っているのはなぜでしょう」というクイズが出され、答えた子どもからポップコーンのお土産をもらっていました。最後は全員に配られて、もらった子どもたちは思わぬプレゼントにニコニコの表情を浮かべていました。

